

「広域合併」本年前半を目途に 具体取り組みを明確に



浜田 等議員

浜田 等議員 中薩地域町政懇談会（合併問題についての七町町長の会合）確認事項に「本年五月末を目途に同一資料（地域の将来像等の調査研究報告書）をもって住民への説明を終え、その後、住民の意向を踏まえ、具体的な検討に入る」としてあるが、住民への説明、意向収集の方法、これからのスケジュール、関係町の取り組みと合意形成の目途について何う。

祁答院四町の 枠組みを基本に

北村町長 住民への説明・意向収集は各区ごとに実施したい。また、近隣町のアンケート調査等でも七割近くが祁答

院四町での合併を希望されている。これまでの歴史的つながりや住民の生活圏域、公共機関の行政区域等踏まえた場合、祁答院四町の枠組みを基本として進めていくことが最も適切であると思われるので、合併特例法の期限を視野に入れたら関係各町と早急に協議を行い、本年前半には法定協議会設置の是非を含めた具体的な取り組みを明確にしていきたいと考えている。

施政方針に対する質問

① 特色ある町政の

推進策は

浜田議員 巷間耳にすること、宮之城は農業を中心とした町か、商工業の町かわからない。何か特色ある町づくりには欠けている点があるのではないかと、この意見があるが、特色ある勢いのある町の町政推進策は打ち出せないか、町長の見解を伺う。



合併問題についての地区別説明会も始まった（湯田地区）

健康・協働・楽を

キーワード施策展開

町長 基本的な町づくりの方向は、第四次総合振興計画でも示したとおり、町づくりの将来像を「人と自然が調和した躍動する希望のまち」と定め、これを実現するための基本的理念として、「健康・協働・楽」の三つをキーワードとして各種の施策を展開していきたい。

② 行財政改革の 受け皿

町社協に対する 支援策

浜田議員 町の行財政改革の推進に伴って、本年四月から町立佐志保育所が、町社会福祉協議会に経営管理が移行することになり、町社協は町から老人福祉センター「いぬまき荘」の運営管理ほか九つの事業を受託することになり、県

いて支援の要望があれば、社協と十分協議して援助の措置を講ずる。

③ 今こそ思い切った 行財政改革を

浜田議員 最近、県下における市町村の行財政改革の状況が新聞報道されている。大変厳しい状況のなか、議会議員の報酬、町三役等の給与の削減策などが実施されている。本町においても思い切った行財政改革を行うべきと思うが、町長の所見を伺う。

近隣町と十分 検討しながら

町長 報酬等削減の問題は指摘のとおりで、町民からそのような声もある。気になるところである。このことについては、近隣町との間わりも十分検討の結果、今回は提案はしなかった。いずれ、広域合併の問題等を進めるなかで、本格的に検討していきたい。

財政・組織問題に 積極的支援を

町長 町社会福祉協議会とさしては、地域社会福祉や社協本来の管理業務を進めながら、町からの事業の受託、心から感謝している。今後、財政的な面や組織上の問題につ